

ドライブレコーダーの記録データ提供に関する協定を締結

6月6日、東村山警察署と市は「ドライブレコーダーの記録データ提供に関する協定」を、東村山市・清瀬市清掃事業協同組合・東村山市環境整備事業協同組合・東村山警察署管内運行管理者会・銀河鉄道株式会社とともに締結しました。

この協定は、市が管理するドライブレコーダー(コミュニティバスを含め、72台の車両にドライブレコーダーを搭載)の記録データを、事故事件などの捜査に活用するために提供するものです。

問合せ 総務課庶務係 ☎042・497・1819



応急手当普及員に救命講習の指導を委嘱

4月1日より、これまでは認められていなかった、応急手当奨励事業所の応急手当普及員による救命講習の自主開催が、消防署長の委嘱を受けることで可能になりました。

委嘱を受けた2人は、「以前より責任が重くなるが、やりがいがある」「今後さらに応急手当を広めていきたい」と抱負を述べました。



委嘱を受けた濱野さん(前列中央右)と笠野さん(同左)

まちかどニュース

身近なイベントや、街角の話題を皆さんから募集しています。

フレイル(身体の虚弱)、オーラル・フレイル(口腔機能の虚弱)予防講演会を開催しました

7月5日、アミューホールで大川延也氏(大川歯科医院院長・歯学博士)を講師に迎え、「フレイル(身体の虚弱)、オーラル・フレイル(口腔機能の虚弱)予防講演会」が開催されました。

「フレイル予防が若さと健康を保つ大きなカギである」という内容に、集まった市民の皆さんは熱心に耳を傾けていました。



大盛況となった会場の様子

日系社会青年ボランティアの小島尚幸さんがブラジルへ

7月から、市内在住の小島尚幸さんが、JICA(独立行政法人国際協力機構)の日系社会青年ボランティアとしてブラジルに派遣されています。小島さんは約2年の派遣期間中、7歳から20歳までの子ども・青年達に日本式野球の技術を伝え、また日本文化の紹介なども行うとのことです。



市長と握手を交わす小島さん

減らそう食品ロス「3010運動」にご協力ください

本来食べられるにも関わらず捨てられた食品の量は、日本でも年間約646万トンと推計され、日本人1人あたり(1日分)に換算すると、お茶碗1杯分(約139g)にもなります。

「3010運動」は、宴会などで乾杯後の30分は料理を味わい、お開きの10分前になったら自席で料理を食べる運動です。食品ロスの削減にご協力をお願いします。

問合せ ごみ減量推進課 ☎042・493・3750



3本の木とともに

7月5日、港区白金にある学校法人北里研究所と「結核と闘った清瀬の尊い歴史」を世界遺産にしていこうと協定に調印しました。日本最初の結核専門病院を明治26年に開設したのは北里柴三郎博士です。

改めて申し上げますが、当初私にとって政治は人生の目標ではありませんでした。故星野前市長に11年前に後継者になってほしいと頼まれた時には断りました。が、しかし4年後、関係者の皆さんの前で直接指名されたため、もう逃げられないと覚悟しました。

稚園長を退任した時は3日間、心の真ん中がとてもしなかつたです。そして、お天道さんに誓いました。『わかりました、お天道さん。これから公のために、自分の人生を差し上げます』。だから、選挙で当選しても喜びは全くありませんでした。いよいよ恐ろしい責任を抱えた覚悟しました。

私は清瀬の世界遺産の考えなど全くありませんでした。結核で清瀬から昇天した無数の魂が『先人の私達が味わった闇の時代、苦しみの人生に気が付きなさい。だから、もう結核であなた達は闇、苦はないの、世界の幸せが築かれているのよ』とメッセージを送り続けてきたのです。『サナトリウム残影―高三啓輔著』には、『結核の蔓延は、歴史としては悲惨というほかはない出来事だった。清瀬病院の重症者が入った個室の壁には「人の世の流れの果てや清瀬村」という、呪いのような言葉が刻み込まれていた。清瀬の駅では、先の写真で見たような母娘の哀切な風景が展開された。言葉では尽くせない数多くの悲運、悲劇が繰り返された』と書かれています。

清瀬市長 渋谷金太郎

胃・大腸がん検診(後期)受診者募集

バリウムによる胃のエックス線撮影と便潜血反応検査(検便)を行います。

対象 市に住民登録のある35歳以上(昭和59年3月31日以前生まれ)の方。応募者多数の場合は抽選(結果は8月下旬に郵送予定)

実施日 9月25日(火)・26日(水)・27日(木)・28日(金)、10月23日(火)・24日(水)、11月21日(水)・22日(木)・28日(水)、12月16日(日)(大腸がん検診のみ)・17日(月)・18日(火)のいずれも午前のみ

場所 健康センター 費用 胃がん検診1,000円、大腸がん検診500円(免除制度あり) ※胃がん検診・大腸がん検診ともに60歳以上の方は無料、また、

世帯全員が住民税非課税・生活保護世帯・中国残留邦人等支援給付対象者の場合はその証明書を提出すれば無料です。

申込み 7月17日から8月3日(消印有効)までに直接窓口または電子申請、通常はがきに住所・氏名(フリガナ)・生年月日・電話番号・希望する検診の種類(「胃のみ」「大腸のみ」「胃と大腸両方」)・検診希望日(実施日から第1・第2・第3希望日)を記入し、〒204-8511 清瀬市健康福祉部健康推進課「胃・大腸がん検診申込み」へ(電話での申込みは受け付けておりません)

問合せ 健康推進課健康推進係 ☎042・497・2075

嘱託員募集

職種・募集人数 ①司書②学童クラブ指導員・いずれも若干名 資格 ①司書の資格を有する方 ②保育士証または教員免許を有する方、もしくは2年以上児童福祉事業に従事(常勤職員に準じた勤務)したことがある方 募集要項 7月17日(火)から25日(水)までの平日午前8時30分～午

後5時に職員課で配布(市ホームページからもダウンロード可)

申込み・問合せ 7月25日(必着、土・日曜日、祝日を除く)までに、所定の用紙に必要事項を記入し、資格証明書などの写しを添えて、直接窓口または郵送で職員課職員係 ☎042・497・1843へ

受験生チャレンジ支援貸付

一定所得以下の世帯に、受験費用を無利子で貸与します。

返済(償還)免除 高校・大学などに入学後、申請により返済(償還)が免除されることがあります

対象 中学3年生・高校3年生、またはこれに準ずる方

貸付内容 塾代=上限20万円(家庭教師は対象外)、高校受験料=上限2万7,400円、大学等

受験料=上限8万円 申請締切 平成31年1月31日(受付時間=平日午前9時～午後4時、正午～午後1時を除く) ※事前に電話でお問い合わせのうえ、下記までお越しください。初回相談日に申請することはできません。詳しくは、市ホームページをご覧ください。 問合せ 生活福祉課庶務係 ☎042・497・2058

※今回の俳句は「第9回石田波郷俳句大会ジュニアの部」から、学年は大会時。

清瀬 ことばも俳句

小・中学生の俳句を紹介するコーナー。ぜひ応募ください。 選評 石田波郷俳句大会実行委員会

風鈴がやさしい音でねむらせて (評) 風鈴の音は、その時々風の風によって、大きくなったり小さくなったり、時には止んだりします。夜、眠りにつこうとする時にあまり大きな音は困りますね。明日、早起きをしなければならぬ時などはなおさらです。 風鈴が伝える風の笑い声 一・二・三年 西田紗希 (評) 風鈴の音の変化に声の表情を感じています。風鈴の背後にいるのはもちろん風。風の機嫌によって風鈴はその声を伝えていく。話したり、歌ったり、時には泣いたり。今、カラカラと聞こえたのは、風が笑ったからです。 雷雨きて今ただ思う原爆忌 清明小五年 西原蒼真 (評) 「忌」は、芭蕉忌、啄木忌など亡くなった著名な方々の命日のことです。「原爆忌」は広島・長崎に落とされた原爆によって命を落とした多くの人々を思い、回向する日です。雷の音と激しい雨に、あの日を想像したのです。